

箱型擁壁

NETIS
掲載終了

NNTD
No.0287

建技
審証

DL
Landscape

可とう性を有するもたれ形状の擁壁

●特長

1.耐震性

フレキシブルな構造であるため、地震時の土圧に対して壁体が微小に挙動することで発生する応力を減少させ、擁壁のひび割れや崩壊を防止します。また、地盤反力が小さく、基礎地盤、背面土の不同沈下にも追従性を発揮して、擁壁全体の安定性を保持します。

2.安全性

単粒度碎石の層は極めて排水性が高く、必然的に背面土の安定が計れます。

3.経済性

施工現場では、鉄筋、コンクリート、型枠などの特殊作業をほとんど使用しないため、大幅な工期短縮によって経済性の向上が計れます。

4.施工性

カーブ施工が容易です。階段積み形状は立体感ある造形美を有しています。また、製品を反転することにより、容易に端部止めができます。

5.環境性

各小段を利用しての植栽、あるいは自然緑化等で生態系保全にも配慮できます。また小段は、けもの等の通り道、斜面落雪の緩和、車両走行の視線誘導、カーブの視界障害の軽減といった様々な特性があります。

6.建設技術審査証明取得

建設技術審査証明(土木系材料・製品・技術、道路保全技術)

(一財)土木研究センター 建技審証第0327号

※本審査証明は株式会社箱型擁壁研究所、昭和コンクリート工業株式会社に交付されたものです。



岩手県宮古市



福島県楢葉町

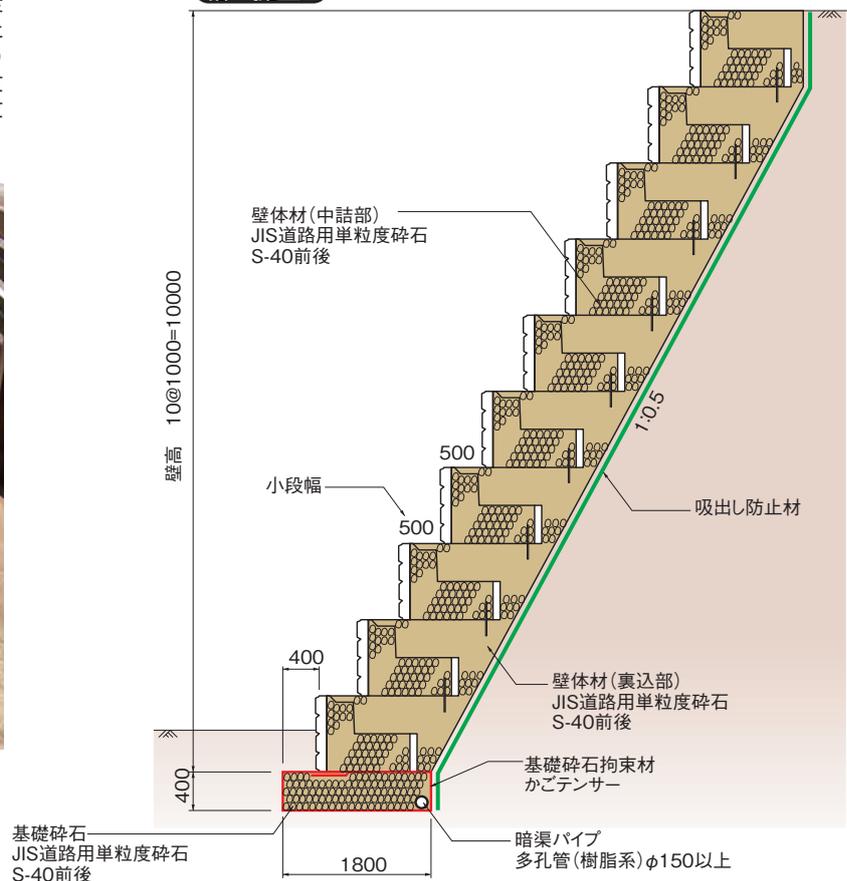
標準敷設図

箱型形状をしたプレキャスト材と中詰め材(単粒度碎石)を用いて、階段状に積み上げる擁壁です。土圧等の外力に対して、壁体(製品と中詰め材)の自重及び、中詰め材(単粒度碎石)の粒状材による支持抵抗力とせん断抵抗力を利用し背面土に密着支持されることを基本原則とした工法です。



青森県黒石市

箱型擁壁L



基本形状図
形状・寸法
重量表

防草製品

GRC製品

道路関連

景観製品

擁壁類

側溝類・管渠類

貯水槽

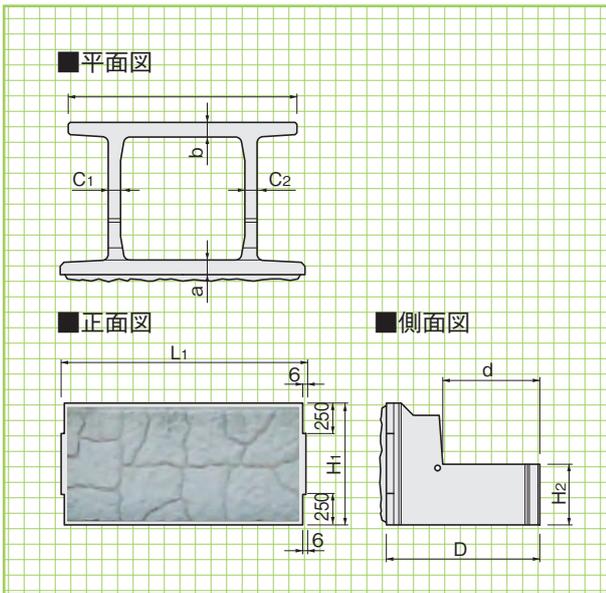
護岸・用水製品

基礎類

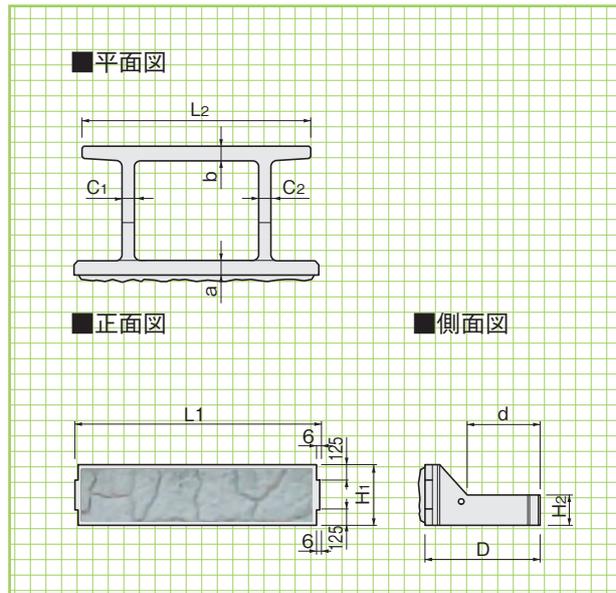
標準歩掛り

※面版デザインは2種類用意しております。

箱型擁壁Lタイプ A型・B型



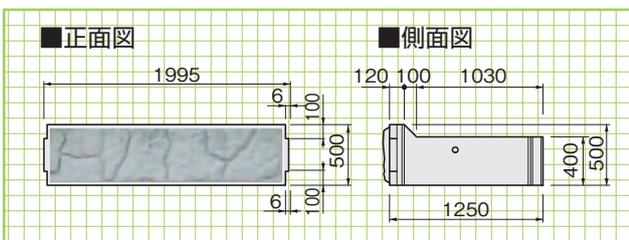
箱型擁壁Mタイプ A型・B型



■寸法・重量表

呼称	寸法(mm)										参考重量(kg)
	L1	L2	H1	H2	a	b	C1	C2	D	d	
Lタイプ A型	1995	1865	1000	498	120	140	100	100	1250	790	1304
Lタイプ B型	1496	1262	1000	498	120	120	100	100	1250	790	1028
Mタイプ A型	1995	1713	500	249	100	100	105	105	1000	650	515
Mタイプ B型	1496	1080	500	249	100	100	105	105	1000	650	391

箱型擁壁Lタイプ Ah型 参考重量:784kg



■標準歩掛り(Lタイプ A型) (10m²当り)

呼称	形状寸法	単位	数量
世話役		人	0.2
普通作業員		人	0.8
クレーン	15~16t吊り	日	0.2
箱型擁壁	A型1.0×2.0×1.25m	個	5.0
箱体目地材		枚	5.0
※1 暗渠工	φ150mm(樹脂製)	m	10.0
※2 基礎材工	単粒度砕石S-40前後	m ³	7.2
壁体材工	単粒度砕石S-40前後	m ³	13.5
端部中詰めコンクリート工		m ³	現場状況に応じて計上
吸い出し防止材	タフネルEX-40	m ³	現場状況に応じて計上

※1、※2 最下段に限り計上する。(注:歩掛り表は、1:0.4勾配の場合)
注1)運搬距離20m程度の小運搬を含む。
注2)集水(排水)パイプは湧水の特に多い場所は、適応口径のものを使用する。
注3)クレーンの機種は現場状況により別途検討すること。

■標準歩掛り(Mタイプ A型) (10m²当り)

呼称	形状寸法	単位	数量
世話役		人	0.1
普通作業員		人	0.8
クレーン	ラフレテンクレーン排ガス対策型 油圧伸縮型ジフ5t吊り	日	0.2
箱型擁壁	A型0.5×2.0×1.0m	個	10
箱体目地材		枚	5.0
※1 暗渠工	φ100mm(有孔管)	m	10.0
※2 基礎材工	単粒度砕石S-40前後	m ³	4.4
壁体材工	単粒度砕石S-40前後	m ³	5.4
端部中詰めコンクリート工		m ³	現場状況に応じて計上
吸い出し防止材	タフネルEX-40	m ³	現場状況に応じて計上

※1、※2 最下段に限り計上する。(注:歩掛り表は、1:0.4勾配の場合)
注1)運搬距離20m程度の小運搬を含む。
注2)集水(排水)パイプは湧水の特に多い場所は、適応口径のものを使用する。
注3)クレーンの機種は現場状況により別途検討すること。